

3 議会だより
Communication Tool

月定例会

敦賀市議会 検索



議会報告会を開催しました

ご参加いただいた皆様
ありがとうございました

今年で5年目を迎える議会報告会。今回は5月に開催しました。主な内容として、3月定例会の審議内容に加え、昨年度の報告会で皆様からいただいたご意見を、議会としてどのように取り扱わせていただいたかについて報告を行いました。

また、「観光のまちづくり」地域の魅力を教えてください」と題した意見交換では、地域の隠れた魅力について、地元の方ならではの視点から多様なご意見をいただきました。今回いただいた皆様からの貴重なご提案が、将来の敦賀市の観光施策につながるように、努力してまいります。

目次

常任委員会審査報告・・・2～ 5

特別委員会中間報告・・・6～ 7

代表・一般質問・・・8～12

審議結果一覧・・・13

議会日誌など・・・14

常任委員会審査報告

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを予備的に審査する場です。

「予算決算」「総務民生」「産経建設」「文教厚生」の各常任委員会の主な審査の概要について紹介します。

● 予算決算 常任委員会 ●

〔第1号議案〕
平成25年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）

質疑

◎公共施設整備基金積立金に関連して

問 地域の元気臨時交付金を1億6935万1千円積み立ててあるが、交付金の総額と繰り越しの理由は。

答 この交付金は、25、26年度に使う交付金であり、総額で3億8535万1千円である。25年度分は、花城テニスコート改修事業や松原公民館用地購入等に使わせていただいた。繰り越す場合は基金に積み立てる必要があるため、残額の1億6935万1千円を積み立て、26年度事業に充当する。

◎駅前広場整備事業費に関連して

問 補助金交付決定減に伴う減額、4414万1千円の詳細説明を。

答 内訳としては国庫支出金1828万3千円、市債2320万円、基金繰入金265万8千円である。

国の全体調整の中で、国庫支出金1828万3千円が減額されたため、交流施設前のキャノピー上屋に係る事業費を減額したが、今回の国の経済対策の中で、当該減額分について、実施したい。

◎松原公民館建設事業費に関連して

問 用地について、地元の詳細は得られているのか。

答 松原地区の各区長、西浦地区の代表で構成されている松原公民館建設委員会から、この場所がふさわしいとの要望があった。

◎災害復旧事業に関連して

問 台風18号の被害復旧は終了しているのか。

答 河川災害復旧費は年度内で終了する。道路災害復旧費に関しては、山区で併用林道となっているところについて、森林管理署と協議しており、新年度回しとなる。

自由討議

◎松原公民館建設事業費に関連して

意見 松原公民館は老朽化していた。財源に地域の元気臨時交付金を活用するものであり評価できる。

意見

地区の中心に建設されることは、年配の方が歩いて行け、地域に密着していい。ただし、音への苦情が起きる恐れがあり、地域の合意形成が必要ではないか。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

平成26年度予算全案（総括質疑）

質疑

問 予算編成方針に関連して、経済対策については。

答 経済対策については、平成26年度当初及び平成25年度3月補正予算合わせて、28事業、総額7億692万9千円を計上している。

まず、歳出特別枠事業として、

平成25年度の給与削減により余剰となつた一般財源を、繰越金として当初予算に振り替えて計上し、相当額の特別枠を設け、店舗リニューアル等支援事業費補助金などの10事業を予定している。

また、国から交付される地域の元氣臨時交付金を活用し、グラウンドゴルフ場整備や松原公民館建設事業などの5事業。国の経済対策補正を活用し、駅前広場整備や下水道の管渠築造等を前倒しして行う6事業、さらに、敦賀港の利活用推進に向けた補助制度の拡充や、舞鶴若狭自動車道関連で経済効果の見込める7事業を計上している。



問 中期財政計画に関連して、政策経費分とは何か。

答 今回の中期財政計画の投資的経費においては、現時点で見込まれている事業のほか、政策経費分の枠を設け、新規事業の財源を確保している。

財政規律を損なうことなく持続可能な財政運営を行うため、おおむね各年度30億円程度を投資的経費の枠としており、現時点で見込まれる投資的経費と政策経費枠を合算して30億円になるように策定している。30億円を極端に下回れば経済活動に影響が出るし、30億円を極端に上回る予算配分を行えば、財政を圧迫することになると考えている。

**【第9号議案】
平成26年度敦賀市一般会計予算**

質疑

◎店舗リニューアル等支援事業費補助金に関連して

問 補助率、限度額及び予定対象者は。

答 それぞれ20%、50万円、50件の予定である。

問 店舗開業支援事業費補助金とのすみわけは。

答 当該事業については、平成18年度から県とともに中心市街地商店街に新しく店舗を開業するものに対して出店補助、家賃補助を

行ってきたが、平成24年度末をもって、県が事業を廃止したことに伴い、市においても平成25年度末をもって新規の出店者に対する補助を終了する。

一方、今年度から新たに行う店舗リニューアル等支援事業は、市内全域を対象として補助を行うものである。



◎グラウンドゴルフ場整備事業費

問 施設の運営形態は。また、指定管理者制度とする場合、選考の基準は考えているのか。

答 内部での検討段階であるが、指定管理者となる可能性が高い。指定管理者とする場合はリラ・ポートとの相乗効果が見込めることなど、条件整備も考えている段階である。

問 施設設置の目的を考えたとき、リラ・ポートとは切り離して考えるべきではないのか。

答 当然切り離して目的にあった施設管理を行っていくが、リラ・ポートの横にできることでの相乗効果を期待している。

問 ランニングコストは。

答 需用費で77万円、役務費で9万2千円、管理を委託として算出し、約583万6千円、合計約670万円を見込んでいます。

問 代表質問の答弁において、リラ・ポートとの割引券に触れられていたが、割引券を発行した場合、一般会計での負担が出るのではないかと。近隣との競争を考えれば、一般会計からの負担を入れなければ成り立たないのではないかと。

答 協定で市からの持ち出しの範囲は決まっております。指しからの負担が増えることはない。指定管理者の合意が前提であるが、指定管理料の範囲内かと考えています。

問 リラ・ポートとグラウンドゴルフ場は切り離すと言っておきながら、トイレと駐車場は共用

となるのか。リラ・ポートとの調整はできているのか。

答 4月から新たな指定管理者となるが、所管の観光振興課とは話をしながら進めている。

自由討議

◎赤レンガ倉庫整備事業費に関連して

意見 施設を作る場合、ランニングコストが重要になるるので、収支は予定通りにおさめる努力をして欲しい。

また、集客のための後押しが必要。指定管理者制度で市に負担をかける方法、議会も一緒に考え応援しなければと思う。

意見 ジオラマとレストランが一体であることの相乗効果を発揮するには、ターゲットをどこに置くかが重要である。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

この後、本会議において、賛同する議員で、平成26年度敦賀市一般会計予算に対する**附帯決議**を提案し、

賛成多数で可決されました。

附帯決議とは、議案を議決する際に、その議案について議会が意見や要望を表明するものです。決議の主な内容は次のとおりです。

グラウンドゴルフ場整備事業の執行に当たり、今後、他の施設との連携等、効率的かつ効果的な事業計画を早急に策定すること。また、運営及びその取組状況について議会への十分な説明を行うことを強く求める。

総務民生 常任委員会

〔第23号議案〕
敦賀赤レンガ倉庫の設置及び管理に関する条例制定の件

質疑

問 レストラン館とジオラマ館の指定管理者を募集した場合、業者の予測はしているのか。

答 レストラン館とジオラマ館とオープンガーデンの全体的な指定管理者を選定する際には、ジ

オラマに関する専門性の高いところをと考えている。

問 レストランも指定管理者が選定するのか。

答 指定管理者にテナント選定をお願いする予定である。しかし、市としても出店可能性調査を行うなど、直接的に関わっていく。

問 レストランが1区画約100㎡で、3.3㎡あたり8千円の月25万円のテナント料は高いのではないのか。

答 8千円は上限。市内の貸店舗を調査し、駅前商店街で高水準にある坪単価8千円というところに合わせて設定した。

問 8千円が上限となると、テナント料が8千円を下回る場合、入館者数と共に一番厳しい条件を見込んだとされる収支の推計が崩れることも有りうるのか。

答 原則は8千円であるが、指定管理者の公募により提案されるものを、見てみなければわからない。

ない部分があることをご理解いただきたい。

討論

反対 港のレストランは先行き厳しいのでは。また、財政的にもこれ以上の市の持ち出しはどうか。もつと議論が必要である。

賛成 指定管理者の公募については、運営が成り立つ仕組みを作ってあげることをお願いして賛成とする。

採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



〔陳情第1号〕
過労死等防止基本法の制定を求める陳情

意見 趣旨は理解するが、労働使間には三六協定があり、また過労死の前段にはうつなどもあると思うが、人によって差があり、一概には言えない。

意見 労働基準法があるの
で、二重の枠づけは必要
ない。まず労働基準法でまっとうな
処分をするべき。

意見 この法案は、昨年12月
に野党6党から提出され
継続審議となった。与党においても
議論され、超党派で法案を提出する
予定とのことである。一向に減らな
い過労死について、早急に法律制定
をとの内容であるため、本市議会で
も通すべきである。

採決 賛成少数
不採択とすべきものと決定

● **産経建設**
● **常任委員会**

〔第38号議案〕
敦賀市景観条例の全部改正の件

質疑

問 この条例は、協力を求める
条例であり、義務規定ではな
いという解釈でよいのか。

答 義務規定として縛るのは難
しい。いいものは残し、守っ

ていこうという意識の中で、協力で
きる範囲でしていただきたいと考え
ている。ただ、面積や高さについて
は条例に規定があり、その部分は基
準に沿って指導をさせていただく。

問 施行までに半年あるが、規
制に入るまでに申請された場
合は、どのような指導をするのか。

答 条例が施行されていない中
では言えないこともあるが、
敦賀市として景観計画も策定し、条
例を上程した。議会で認めていただ
ければ、その趣旨でもって指導させ
ていただきたい。

採決 全会一致
原案どおり認めるべきものと決定

● **文教厚生**
● **常任委員会**

〔第26号議案〕
敦賀市子ども医療費の助成に関す
る条例の一部改正の件

質疑

問 夜間の外来患者が増えるの
ではないか。

答 窓口で3割を一旦払ってい
ただくので、少しは抑止力は
あるのではないかと考えている。

問 条例の施行が10月1日の理
由は。

答 システム改修が必要であ
り、また、医療機関、保護者
への通知に日数が必要である。

討論

賛成 中学校卒業までの医療
費無料化は以前より求
めてきた。助成という形であるが、
子育て世代の負担が減る。

採決 全会一致
原案どおり認めるべきものと決定



〔請願第1号〕
手話言語法制定を求める意見書の
提出についての請願

意見 日本では手話は言語で
あるという認識が薄い。
必要な措置を講じていくため、法
律が必要。

意見 手話通訳士は国会でも
議場内に配置されていな
い。テレビの国会中継で画面に手
話通訳が入っているのは、放送局
の配慮である。

意見 手話通訳士養成の特別
な教育機関はなく、手話
通訳士の人数は少ない。法律を定
め、手話通訳士を増やしていかな
ければならない。

討論

賛成 手話でコミュニケー
ションが取れる環境作
りが大切である。また、手話通訳
士を増やす環境作りも必要であり、
意見書を提出すべき。

採決 全会一致
採択すべきものと決定

特別委員会中間報告

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

「原子力発電所特別委員会」「敦賀駅周辺整備調査特別委員会」「敦賀市公立大学設置特別委員会」の調査の概要について紹介します。

● 原子力発電所 特別委員会 ●

日本原子力研究開発機構関係

質疑

問

平成26年3月12日に発生した、職員の負傷に関連して、核物質防護の観点から、情報取得が困難なことは理解できるが、直すべき作業標準・手順であるならば直すといったような指導をするべき。理事長なり所長なりの責任ある立場の人に、注意してほしい。

答

市としても、引き続き強く指導していきたいし、しかるべき立場の人を呼んで注意していきたい。

その他の事項

意見

安全協定に基づく立入調査の実施に関連して、理事者として、敦賀市民の安全を守る立場で、強い姿勢で、指導監督してほしい。



● 敦賀駅周辺整備調査 特別委員会 ●

仮設駅前広場について



昨年度の議会報告会で市民の皆様からお伺いした意見のうち、議長より当委員会と協議するよう通知のあった項目について、理事者に説明を求めて調査を行いました。

◎ 仮設アーケードの設置

市からの説明

12月定例会後、対策等ができないか検討を行っており、現在、課題に対する構造検討や経費算定等を行っている。次の冬季に間に合うよう準備を進めたい。

◎ 工用の仮囲いの活用

市からの説明

駅前広場の完成イメージ等を既に仮囲いに設置しており、今後PR等利用を促していく。

質疑

問

設置してある完成イメージが小さいのではないか。

答

仮囲いはリース材を利用しているため制限があり、取り付けられるものの中で最大サイズである。

◎ 商店街アーケードでのタクシーからの降車

市からの説明

公安委員会との協議後、タクシィ協会に、降車時の配慮について文書により要請を行った。なお、タクシィ協会では、全体会議で説明がなされたとのこと。

※議長より通知のあった協議事項について、すべての課題が改善されている、または今後改善されることを確認。

敦賀駅交流施設について

市からの説明

1階の市民交流スペース内の総合案内所にコンシェルジュが常駐し、観光や施設案内が行われる。また、ギャラリーや多目的室等は、

展示や各種イベントに市民も利用可能である。

駅前広場整備について

市からの説明

工事の進捗として、今後、キャノピーの上屋工事等を進め、平成27年度中の完成を目指す。

敦賀駅西地区土地区画整理事業

市からの説明

現在、都市計画道路敦賀駅津内線の拡幅工事を行っており、完成は平成26年度末を予定している。

また、区画整理事業全体としては、残工事に区画内道路10・1号線の一部と公園があり、全体事業の完成は平成28年度中を予定している。

なお、Aゾーン、Bゾーンの土地利用については、北陸新幹線開業を目標として検討することとし、平成27年度中に市の方向性を定めていきたい。

駅東周辺整備について

市からの説明

駅東地区で必要となる交通施設の

おおむねの配置計画が検討されている。

特にポイントとなるのは、JR北陸本線と新幹線ルートが交差する箇所である。この付近の設計については、鉄道運輸機構が平成26年度、27年度に、車両基地の概略設計を行う中で、機構がJRと協議しながら実施していくとのことである。

市としては、東西アクセス道路の位置、交差方法等の方針を決定し、遅滞なく機構やJRとの協議が可能となるよう準備を整える必要がある。したがって、平成26年度当初予算では、鉄道運輸機構、JRとの協議を行うための基本設計の委託料を計上した。

敦賀市公立大学設置 特別委員会

入試実施状況について

市からの説明

推薦入試合格者15名のうち3名と、社会人入試合格者は敦賀市在住の者であった。

県外からの出願者については、2県を除くすべての都道府県からあった。

中期目標について

市からの説明

中期目標は6年間の目標として設定されており、作成にあたっては、市の評価委員会の意見を聞くこと、議会の議決を経ること、大学の意見を聴取することが必要である。

質疑

中期目標について、敦賀市立看護大学としての特色部分以外は、どの大学でも同じようなことを考えているのか。

特別というわけではないが、地域と連携した大学としたことで、特に地域貢献の項目数が他の大学より増えていると思う。

料金の上限について

質疑

聴講料等は、県内他大学とすべて一緒なのか。

聴講料は、他大学より安くなっている。

請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政については、市民のみならずが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、左記の該当要件（*）により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります（それ以外は写しを全議員に配付）。

- *該当要件
- ・敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
- ・公益的性格を有するもの。
- ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

【書式例】

年月日

請願（陳情）書

敦賀市議会議長 殿

紹介議員（請願のみ）

住所 ……………

氏名 ……………

……………について

請願（陳情）趣旨

……………

請願（陳情）事項

1 ……………

2 ……………

代表質問・一般質問

3月10日に、市政会、政志会、市民クラブ、日本共産党敦賀市会議員団、公明党が代表質問を行い、3月11日・12日に、14議員が一般質問を行いました。

それぞれ会派・議員ごとに、1項目について要約して掲載しています。

代表質問

市政会

敦賀駅周辺整備

田中和義

問

駅前広場の工事期間において、仮駅前広場の歩道部分は雨ざらしである。法的に1年以内であれば仮設が認められるのであれば、仮設アーケードを設置するなどの利便性向上の再検討ができないか。

答

1年間運営してみて、ご利用の皆様方には大変ご不便をおかけしたと大変申しわけなく思っており、仮設の屋根をつくらなければと思っている。積雪や費用についてなど色々検討して議会に提示をし、ご承認をいただければやっていきたい。



政志会

旧アクアトムの活用について

宮崎則夫

問

旧アクアトムは2012年4月から閉館しているが、解体するよりも市民や観光客のため、「今日まで原子力政策に協力している敦賀市」として、活用策を原子力研究開発機構、文科省、県に提示し存続できるように交渉してはどうか。

答

機構より敦賀市への譲渡について打診があったが、財政面を考えれば所有することで大きな負担を強いられるので、所有も維持管理もできないと回答した。市としてはできるだけ早く一定の結論が出ることを願っている。

市民クラブ

赤レンガ倉庫整備事業と観光戦略について

別所 治

問

北陸新幹線の敦賀延伸を見据えた、新幹線駅に係るアク

セス道路や交通広場について、どのように進めていこうとしているのか伺います。

答

本年度、北陸新幹線駅周辺整備基本計画の策定業務を行っており、その中で新幹線駅のアクセスとなる国道8号とバイパスを結ぶ東西連絡道路や駅東側交通広場等の計画案を作成し、円滑な道路網整備や交通ターミナル機能の強化を図っていききたいと考えている。



日本共産党敦賀市会議員団

もんじゅ

上原修一

問

点検漏れで原子力規制委員会から運転禁止命令が出ている「もんじゅ」で、政府は高レベル放射性廃棄物の減容化や燃焼実験を行う計画だが、あまりにも無謀で住民をないがしろする行為である。市

長は抗議すべきではないか。

答

日本で原子力発電所が稼働して50年、いろんな放射性廃棄物があり、エネルギー確保の観点から、減容化、有害度の低減は大変重要な課題。日本原子力研究開発機構はその使命を認識したうえで地域住民に説明をし、国民の信頼を得てこの問題に取り組むべき。

公明党

敦賀市財政の見通しについて

高野新一

問

原発停止中における厳しい状況で、電源三法交付金の今後の見通しは。また、市債発行高の抑制および償還計画はどのように考えるか。

答

平成28年の敦賀1号機の運転終了に伴い、以降年間約4億円が減収すると見込んでいる。プライマリーバランスを考慮し、年間市債権発行額を20億円以内に抑え、今後5年間で20億円の償還を計画している。

一般質問

介護・福祉

地域福祉計画

山本 貴美子

問

地域福祉計画、障害者福祉計画、介護保険事業計画等について26年度中に見直しを行うが、地域福祉計画はこれらの上位にあるものであり、自助、共助を強調して公助を後退させることなく憲法25条の立場で見直しをおこなうべき。

答

自助努力は必要であり、施設や医療機関などに頼るだけでは解決できない場合は地域の方々にお願いをするということもある。もちろん公助も大切であるため、これらの点を踏まえて策定委員会の中で議論させていただきたい。

介護保険制度について

今大地 晴美

問

介護保険制度の今後の課題として、在宅医療と24時間地域巡回訪問サービスが必要となってくる。敦賀市の現状と今後の計画はどうなっているのか。

答

在宅医療に関しては、医療と介護の連携を含む地域包括ケア体制の構築について、関係機関等と十分に意見交換を行いながら、さらなる連携強化に取り組んでいきたい。

また、24時間地域巡回訪問サービスについては、第6期の介護保険事業計画の中で協議、議論させていただく。

地域包括ケアシステムの構築について

北條 正

問

2014年、診療報酬改定では「地域包括ケア」体制の構築に向け、入院では「地域包括ケア病棟入院料」、「地域包括ケア入院医療管理料」が新設される。市立敦

賀病院で対応すべきと思うが、見解を伺う。

答

地域包括ケア病棟の新設は、地域包括ケアを推進する上で非常に有効であり、今後具体的な施設基準を十分検討しながら病棟の配置について判断していきたい。

教育・子育て

敦賀スタンダード&国際人の教育(グローバル教育)について

増田 敬

問

国際化時代を迎え、世界を相手に活動するタフな人間を育てることが求められている。英語を自国語と同じように自由に操る敦賀っ子を育てるための外国語活動とカリキュラムはできているかどうか伺う。

答

敦賀市では県の取組に先駆けて外国語活動支援員(ALT)を雇用、週1回すべての小学校に配置し、5、6年生を中心にオーリングリッシュで支援活動をして



もらっている。

低年齢から多くの経験をし、英語のシャワーを浴びることが有効だと思っており、小学校における教育活動の中で英語教育をさらに重点化していくことが必要だと考える。



中学校校区(通学区)のあり方

佐々木 真

問 中郷地区、栗野地区の住宅増加に伴い生徒数の増加が見られる。15年以上前から議論がなされているが、適正な通学距離や規模の観点から、中学校を再編なり新しい位置に設置する考えはないか。

答 学校の耐用年数なども絡めて、今後新たに建て直すなどの問題が出てきたときに、その地区割等を含めて考えていく時期は来ると思う。

また、そのひとつとして小中一貫

校というシステムは、今ある様々な学校教育の中の、いくつかの問題点を改善、解決できる1つの方策だと思っている。

保育園の給食民営化について

山崎法子

問 調理業務を民間に委託するとの方針が示されたが、委託業者との契約にあたっては、保育園のスタッフとの連携や食育を通しての一貫した保育をしていくなどの文言が明記されるのか。

答 業者との協定の中で、一番大事な食育を中心に考え、園長、保育士、栄養士、委託調理員を含めた給食会議を行うことなど、連携の部分はきっちり協定書もしくは契約書に明記するよう確実に実行させていただく。

図書の充実と教育について

北村伸治

問 人は生きていく過程で、本を読むことが非常に大切であり、子どもが生まれる前から母親の本の読み聞かせが始まり、多くの図書が必要である。保育園・幼稚園、学校、図書館の図書の充実と、図書を活用した教育について伺う。

答 保育園では保育士が幼児を除き全年齢対象に読み聞かせ等を行い教育機能を高めており、幼稚園では絵本等の貸し出し、図鑑を見ながらの活動などを実施し活用している。

また、小中学校の図書充足率はすべて達しており、敦賀市の図書館活動や司書の活動は非常に充実している。

観光振興

観光誘客について

福谷正人

問 約1年後に北陸新幹線の金沢開業があり、舞鶴若狭自動

車道は今年度全線開通する。さらに新幹線の敦賀開業がもう見えている今この時期に、全市的な視点をもって観光拠点を整備していくことは重要であると思うが、市長の所見を伺う。

答 新幹線の敦賀開業を一つの目標に打ち立て、ある程度全市的な良い素材を順番に引っ張り出していくということは非常に重要である。また金沢開業により敦賀までの誘客ということも十分可能であり、これからの正念場だということに肝に据えて頑張りたい。

世界記憶遺産登録について

立石武志

問 1920年にポーランド狐児、40年には「命のビザ」を持ったユダヤ人難民の上陸を受け入れた「人道の港」敦賀港について、観光推進する上にも、また敦賀の誇りを記憶に残すためにもユネスコの世界記憶遺産登録を提案するが見解を。

答 登録できるかどうかは微妙なところではあるが、誇るべ

行政

敦賀市の経済対策について

前川 和 治

きエピソード等々があり、杉原千畝氏のことは知っていたらきたい。出身地の八百津町と連携、研究し、ぜひ登録に向けまず土俵に乗れるように努力したいと思う。

金ヶ崎公園の整備について

木 下 章

問 桜の名所といわれる金ヶ崎公園だが、現在寂しい状況となっている。観光の拠点とするためにも、運動公園の桜の里と同様に、植栽により景観を復活させることが必要ではないか。

答 現在、金ヶ崎公園一帯は史跡に指定を受けており、植栽には文化庁の許可が必要である。国の文化財の保存に対する危機的な意識も高まり規制が厳しくなっているが、運動を続け、許可を得られるように努力したい。



問 経済対策は場当たりのな対策であり、即効性はあっても持続性はない。そこで国策に協力してきた敦賀市は国（政府）に対し、国家戦略特区、自由貿易特区、LNG集積拠点化など、新たな基幹産業になりうるものを今後政府に求めていくべきと考えるがどうか。

答 現在、エネルギー政策や基本計画がまだ閣議決定されていない状況である。その中でエネルギー関連であれば、特に天然ガス等は港の活用もあるので、そういうものを誘致したい。また、貿易関係の特区も魅力があると考えている。

各区長の要望事項取扱いについて

力 野 豊

問 区長は、市民の声を聞いて必要性を判断して要望している

る。財政が厳しいと言うが、予算があれば、言い換えれば予算を付けければ、各地区の要望事項にもっと対応していけるのではないか。

答 予算が増えれば、基本的には対応できる件数は増える。厳しい財政の中、国や県の補助制度を活用し、年度間のバランスを見ながら対応している。



防災・災害対策

住民避難対策について

馬 淵 清 和

問 先に決定した県内外の地域別避難先のすみ分けはどのようになるのか。また、その周知方法は。そして市の防災計画については福島原発事故前と事故後ではどのように変わり、事故をどう検証し計画に活かしているのか。

答 すみ分けについては、風向きや拡散予測の結果等で使い分ける。周知方法は詳しい内容が決まり次第RCNや広報つるが等で説明していきたい。

また、以前の計画では10キロ圏内としていた防護対策区域について、事故後は5キロ圏内を予防的防護措置区域、市内全域を緊急時防護措置区域の2種類とした。

自衛隊の誘致活動について

岡 武 彦

問 国の予算で、嶺南地方に基地を作るための調査費が100万円認められた。このチャンスを逃すことなく、市長、市民が一体になり、敦賀市に誘致するために頑張らましよう。

答 嶺南地域で誘致について要望しているので調整しつつ、経済団体にも働きかけをしながら進めていきたい。敦賀に来てもらえるようになれば、全面的な協力をした



代表質問 項目一覧

◎市 政 会

- 1 財政について
- 2 原子力政策について
- 3 地域経済対策について
 - (1) 経済対策と環境整備による観光振興
 - (2) 敦賀駅周辺整備
- 4 社会福祉政策について
- 5 教育関係について
 - (1) 福井国体のあり方
 - (2) 市立看護学校と敦賀病院

◎政 志 会

- 1 敦賀市の財政運営について
- 2 税制について
- 3 敦賀港の振興について
- 4 旧アクアトムの活用について
- 5 一般防災対策について
- 6 子育て支援環境の整備について
- 7 教育問題について
 - (1) 土曜日授業
 - (2) 奨学金制度

◎市民クラブ

- 1 エネルギー基本計画について
- 2 赤レンガ倉庫整備事業と観光戦略について
- 3 グラウンドゴルフ場整備事業ときらめき温泉リラ・ポートについて

◎日本共産党敦賀市会議員団

- 1 平和社会について
- 2 原子力行政について
 - (1) 原発再稼働
 - (2) もんじゅ
 - (3) 原子力防災
- 3 農業問題について

◎公 明 党

- 1 敦賀市財政の見通しについて

一般質問 項目一覧

◎山 本 貴美子 君

- 1 市民負担の軽減について
 - (1) 医療費の窓口での無料化
 - (2) 減免制度の拡充
- 2 福祉計画の見直しについて
 - (1) 地域福祉計画
 - (2) 障害者福祉計画
 - (3) つるが安心の達者プラン(高齢者健康福祉・介護保険)
- 3 自殺予防の対策について

◎今大地 晴 美 君

- 1 介護保険制度について
- 2 寡婦控除のみなし適用について

◎福 谷 正 人 君

- 1 グラウンドゴルフ場整備事業について
- 2 赤レンガ倉庫整備事業について
- 3 観光誘客について

◎佐々木 真 君

- 1 敦賀市の教育行政について
 - (1) 中学校校区(通学区域)のあり方
 - (2) 中郷中学校
 - (3) 小中一貫校

◎前 川 和 治 君

- 1 交流拠点都市について
- 2 敦賀市の経済対策について

◎馬 淵 清 和 君

- 1 敦賀市立看護大学について
- 2 市立敦賀病院について
- 3 原子力防災対策について
- 4 住民避難対策について

◎立 石 武 志 君

- 1 世界記憶遺産登録について
- 2 自衛隊誘致について
- 3 原子力行政について
 - (1) 新たなエネルギー基本計画案
 - (2) 原発再稼働審査
 - (3) 原子力基盤機構福井事務所廃止措置

◎力 野 豊 君

- 1 農業振興策について
- 2 各区長の要望事項取扱いについて
- 3 嶺南地域への自衛隊配備について

◎北 條 正 君

- 1 地域包括ケアシステムの構築について
- 2 原子力防災について

◎増 田 敬 君

- 1 敦賀スタンダード&国際人の教育(グローバル教育)について
- 2 空き家対策について
- 3 安心・安全のまちづくりと航空自衛隊の誘致について

◎木 下 章 君

- 1 クルーズ客船の寄港と商店街への誘客について
- 2 金ヶ崎公園の整備について

◎北 村 伸 治 君

- 1 図書の充実と教育について

◎岡 武 彦 君

- 1 自衛隊の誘致活動について
- 2 復興敦賀音頭の復活とその利用について

◎山 崎 法 子 君

- 1 食育の推進について
- 2 保育園の給食民営化について

審議結果一覧

平成26年第1回定例会では、平成25年度各会計補正予算案9件、平成26年度各会計予算案13件、条例案19件、一般議案3件、報告議案1件、議会提出議案2件、請願1件、陳情1件が審議されました。各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
平成25年度敦賀市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決
平成25年度敦賀都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成25年度敦賀市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成25年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
平成25年度敦賀市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成25年度敦賀市介護保険（保健事業勘定の部）特別会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
平成25年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
平成25年度敦賀市水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
平成26年度敦賀市一般会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市港湾施設事業特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀都市計画土地地区画整理事業特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市簡易水道特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市下水道事業特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市漁業集落環境整備事業特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市農業集落排水事業特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市介護保険特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市産業団地整備事業特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市後期高齢者医療特別会計予算	予算決算	可決
平成26年度市立敦賀病院事業会計予算	予算決算	可決
平成26年度敦賀市水道事業会計予算	予算決算	可決
平成25年度敦賀市一般会計補正予算（第6号）	予算決算	可決

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
第9号議案 平成26年度敦賀市一般会計予算に対する附帯決議の件	—	可決
「手話言語法（仮称）制定を求める意見書」提出の件	—	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
公立大学法人敦賀市立看護大学の設立に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件	総務民生	可決
敦賀赤レンガ倉庫の設置及び管理に関する条例制定の件	総務民生	可決
敦賀市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市障害者医療費の助成に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市港湾附属施設使用料徴収条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市船舶給水条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市公設地方卸売市場条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市道路占用料徴収条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市準用河川の流水占用料等に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市温泉給湯条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市簡易水道供給条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市下水道条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市水道事業給水条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市景観条例の全部改正の件	産経建設	可決
市立敦賀病院保健師、助産師及び看護師修学資金貸与条例の一部改正の件	文教厚生	可決
市立敦賀病院及び敦賀市国民健康保険診療所使用料及び手数料徴収条例の一部改正の件	文教厚生	可決

3 一般

件名	付託委員会	結果
市道路線の廃止の件	産経建設	可決
市道路線の認定の件	産経建設	可決
平成25年度敦賀市水道事業資本剰余金処分の件	産経建設	可決

4 報告

件名	付託委員会	結果
専決処分事項の報告の件（平成25年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第3号））	—	承認

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
手話言語法制定を求める意見書の提出についての請願	文教厚生	採択
過労死等防止基本法の制定を求める陳情	総務民生	不採択

議会日誌

平成25年12月21日以降の主な議会活動の紹介です。

5月	4月	3月	2月	1月
26日(木) 議員説明会	28日(火) 模擬報告会(議会報告会)	24日(月) 議員説明会	27日(木) 予算決算常任委員会全体会・分科会(補正)	15日(水) 広報広聴委員会
22日(木) 議会報告会(松原公民館)	22日(火) 広報広聴委員会	20日(木) 議会運営委員会、全員協議会	26日(水) 全員協議会、本会議(3月定例会開会)	7日(金) 広報広聴委員会
21日(水) 議会報告会(北公民館)	21日(火) 模範報告会(議会報告会)	18日(火) 広報広聴委員会	19日(水) 議会運営委員会	14日(金) 議員説明会、議員研修会
16日(金) 議員説明会、議会報告会(中郷公民館)	14日(水) 敦賀・長浜・高島三市議会協議会総会	17日(金) 予算決算常任委員会(当初採決)	17日(月) 議員説明会	17日(月) 議員説明会
14日(水) 敦賀・長浜・高島三市議会協議会総会	13日(火) 議会報告会(栗野公民館)	14日(金) 原子力発電所・敦賀市公立大学設置特別委員会	14日(月) 議会運営委員会、本会議(代表質問)	14日(月) 議員説明会
13日(火) 議会報告会(栗野公民館)	13日(火) 議会報告会(栗野公民館)	13日(木) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会	10日(月) 議会運営委員会、本会議(代表質問)	10日(月) 議会運営委員会、本会議(代表質問)
8日(木) 広報広聴委員会	8日(木) 議会報告会(栗野公民館)	12日(水) 本会議(一般質問)、議会運営委員会	4日(火) 予算決算常任委員会(補正採決、当初総括質疑)	3日(月) 予算決算常任委員会(補正採決、当初総括質疑)

敦賀市議会ホームページに

アクセス!

検索欄: 敦賀市議会 検索

以下のような情報を公開しています

- 過去(平成22年から)の本会議の映像
定例会ごと、議員ごとに見られます
会期中は本会議の中継も行います
- 議員について
顔写真、連絡先、所属会派や委員会
- 議会について
会期日程、審議結果、意見書
- 議会報告会について
アンケート結果、会場ごとの報告書
- 議会だより
バックナンバーはホームページで

議会報告会の報告書なども公開中!

6月定例会の日程(予定)

議事を傍聴される方は、当日、市役所5階の議会事務局へお越しください。

- 6月9日(月)本会議! 議案の説明・質疑
- 10日(火)委員会・予算決算常任委員会
- 16日(月)本会議! 一般質問
- 17日(火)本会議! 一般質問
- 18日(水)本会議! 一般質問
- 19日(木)委員会・常任委員会
(総務民生、産経建設、文教厚生)
- 20日(金)委員会・原子力発電所特別委員会
- 23日(月)委員会・予算決算常任委員会
- 26日(木)本会議! 委員長報告・討論及び採決

! 本会議は、午前10時からテレビ中継とインターネット中継を予定しています。

編集後記

敦賀市議会では、例年11月に議会報告会を開催していましたが、3月定例会で審議した当初予算の内容をご報告するため、また暖かい季節の方が参加しやすいのではないかと考え、今年度は5月に開催しました。

また、議会だよりの編集でも、わかりやすい紙面で議会の状況をお知らせ出来るよう努めております。

今後とも開かれた議会を目指し、より身近でわかりやすい議会となるよう活動して参りますので、これからも敦賀市議会にご注目下さい。

広報広聴委員会
委員長 福谷 正人
副委員長 別所 治
委員 佐々木 真
委員 北村 伸治
委員 山本 貴美子
委員 山崎 法子
委員 力野 豊
委員 増田 敬

発行：敦賀市議会
住所：敦賀市中央町
2丁目1番1号
電話：22-8157
Eメール：gikat@ton21.ne.jp